

再構築（リビルド）に向けたソースコード診断

既存システムをシステム構成図やソースコードから読み解き、最新技術を活用したモダナイゼーションの手法をご提案します。設計書が最新でない場合でも、長年実装技術を研鑽してきたエキスパートがソースコードを診断し、複雑・難解なアプリケーションを知識と経験から解き明かします。



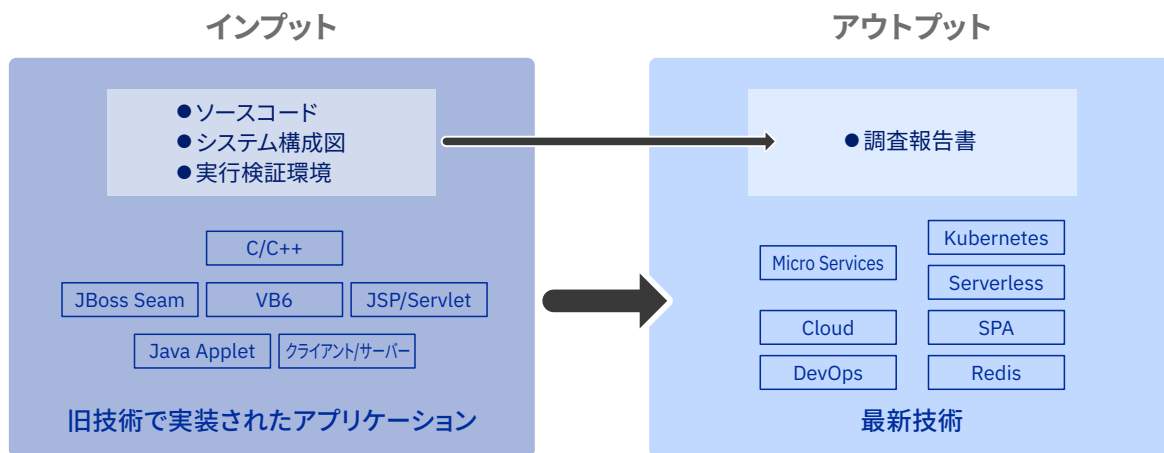
このようなお悩みをお持ちではありませんか？

- ▷ 最新技術で実装したいが、どのように手を付ければ良いか分からない
- ▷ 設計書が古い、管理・更新されていない
- ▷ C/C++、Perl、VB6など前世代の言語で実装されたアプリケーションのソースコードを読める人がいない



知識と経験豊富な アプリケーション・エキスパートが解決します

どのクラウド・プラットフォームでモダナイゼーションすべきか	どのようなアーキテクチャーを目指すべき (フレームワークを活用すべき)か
どのような技術、オープンソースソフトウェアを活用すべきか	最新アーキテクチャーを活用する際の留意点は何か



お問い合わせ

ibm.biz/Contact

リンク先の問い合わせフォームをご利用ください。
お問い合わせ内容欄には「マイクロサービス化・コンテナ化の件」とご記入をお願いします。

日本アイ・ビー・エム株式会社

この情報は2021年4月現在のものです。掲載の製品仕様・価格は予告なく変更される場合があります。
IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml (US) をご覧ください。
Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
JBoss は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。

アセットによる高速マイクロサービス開発

IBMの次世代超高速開発ソリューション「AWAG」(Automated Web App Generator)を活用して、ソースコードを自動生成しながら、マイクロサービス・アーキテクチャーに対応したWebアプリケーションを開発します。まずは数画面のモックアップ開発(無償PoC)から始め、実アプリケーションの開発にステップアップすることで、その効果を予算に合わせて体感いただけます。IBMのクラウドネイティブ開発のベスト・プラクティスをすぐに自社のアプリケーション開発に取り込んでいただくことが可能です。



このようなお悩みをお持ちではありませんか？

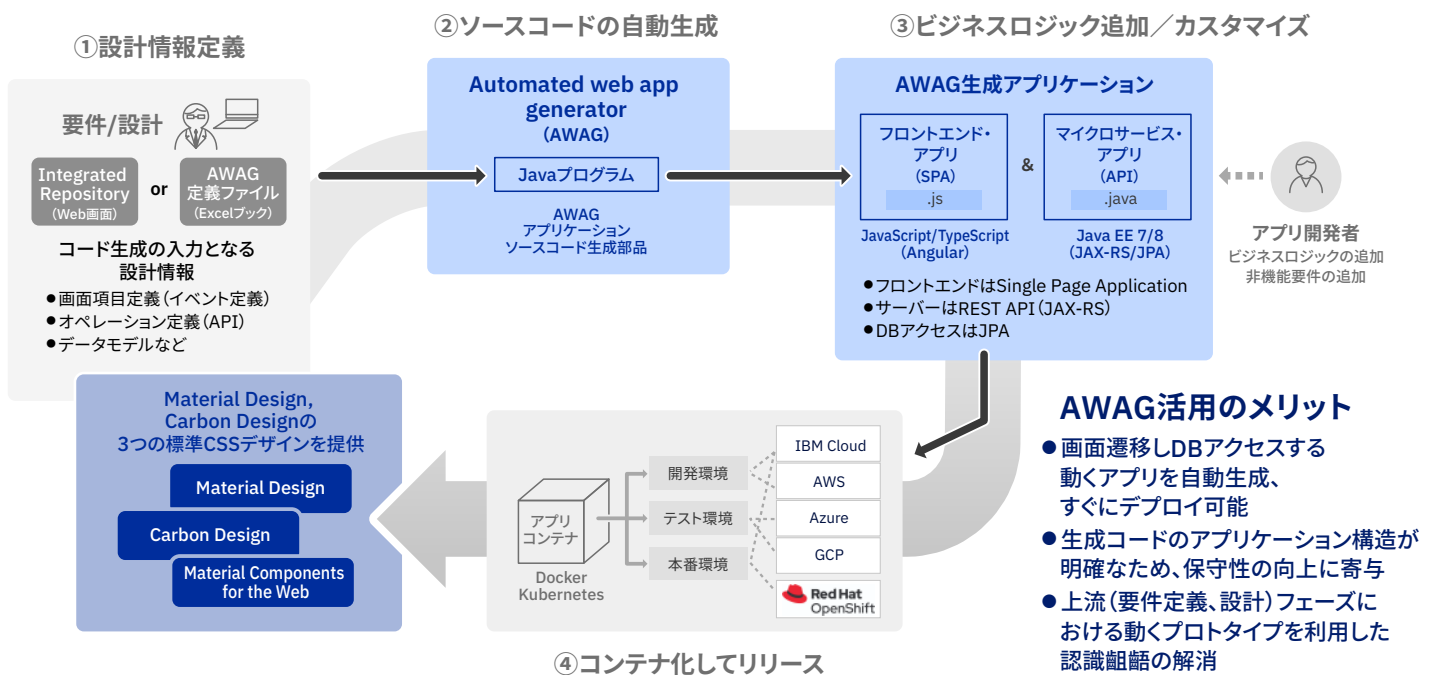
- ▷ ハイブリッド・クラウドに対応するための開発ノウハウがない
- ▷ Webアプリケーションをシングル・ページ・アプリケーションで開発したい
- ▷ スクラッチ開発での開発スピードと品質を高めたい

次世代超高速開発アセット「AWAG」が解決します

マルチ・クラウドに
対応した
最新アーキテクチャーでの
開発が可能に

カスタム開発において、
さらなる品質向上と
工数削減を実現
(開発フェーズ工数 20~30%削減)

ベンダー・ロックインを
回避する
オープンなテクノロジーでの
開発を実現



AWAG活用のメリット

- 画面遷移しDBアクセスする動くアプリを自動生成、すぐにデプロイ可能
- 生成コードのアプリケーション構造が明確なため、保守性の向上に寄与
- 上流(要件定義、設計)フェーズにおける動くプロトタイプを利用した認識齟齬の解消

お問い合わせ

ibm.biz/Contact

リンク先のお問い合わせフォームをご利用ください。
お問い合わせ内容欄には「マイクロサービス化・コンテナ化の件」とご記入をお願いします。

日本アイ・ビー・エム株式会社

この情報は2021年4月現在のものです。掲載の製品仕様・価格は予告なく変更される場合があります。
IBM、IBM ロゴ、ibm.com、およびIBM Cloud は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml (US) をご覧ください。
Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Webアプリケーションのマイクロサービス化

マイクロサービス静的解析ツール「CMA」(Candidate Microservices Advisor)が、モノリス・アプリケーションとアクセスするデータベース・テーブル群に着目しながら、プログラムとデータベース・テーブルのクロスリファレンスやコード構造を生成し、マイクロサービス分割候補をAIで分析し推奨します。さらに、CMAにより可視化された分割案を経験豊富なアーキテクトが診断し、実現可能なマイクロサービスの設計を行います。まずは小さな領域からお試しいただけます。



このようなお悩みをお持ちではありませんか？

- ▷ モノリス・アプリケーションの膨大なコードとDBを手で解析するのに時間がかかり過ぎる
- ▷ モノリス・アプリケーションのコードとDBの分割が意味のある結果を導き出せるか分からない
- ▷ マイクロサービスの高度な設計を自社だけでは実現できない

マイクロサービス静的解析ツール「CMA」とアーキテクトが解決します



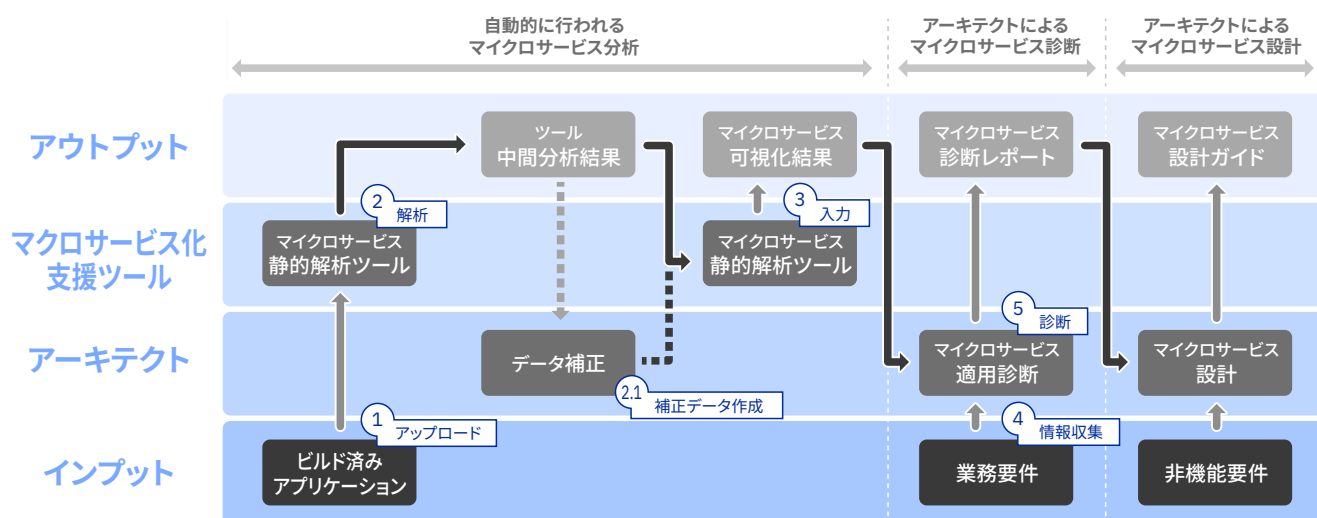
容易 ビルド済みアプリケーションを
入力するだけで、
CMAがマイクロサービス
分割候補を分析



経験 CMAの分析結果から、
経験豊富なアーキテクトが
マイクロサービスの
実現可否を診断



実用 マイクロサービスの
概念レベルではなく、
難解な実装レベルの
設計を実施



お問い合わせ

ibm.biz/Contact

リンク先のお問い合わせフォームをご利用ください。
お問い合わせ内容欄には「マイクロサービス化・コンテナ化の件」とご記入をお願いします。

日本アイ・ビー・エム株式会社

この情報は2021年4月現在のものです。掲載の製品仕様・価格は予告なく変更される場合があります。
IBM、IBMロゴ、およびibm.comは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml (US)をご覧ください。

DevSecOps プロセス & ツールアセスメント

IBMのグローバルな知見を活用して、ビジネス計画からアプリケーション開発、運用プロセスの現状を整理し、お客様のDevSecOps成熟度を評価、課題を明らかにします。さらに、To-Beモデルの検討を通じて、お客様のDevSecOps実現に向けた施策および実行計画を作成します。



このようなお悩みをお持ちではありませんか？

- ▷ アプリケーション開発の生産性や品質に課題があり、商品やサービスを迅速にリリースできない
- ▷ ユーザー部門、開発部門、運用部門の連携がなく、価値の高いサービスが提供できない



DevSecOps 実現に向けた構想策定を支援します

市場機会を素早く捉え、
価値の高い
商品・サービスの
迅速なリリースが可能に

セキュリティー設計や
評価を統合した
クラウド時代に求められる
DevSecOps 実現における
課題が明確に

Action.1

What's DevSecOps?
(DevSecOps勉強会)

- DevSecOpsとは?
- DevSecOpsの要素



Action.2

既存DevSecOpsの形式知化
(As-Is調査・整理)

- DevSecOpsのターゲット領域定義
- DevSecOps基盤整理
- 関連部門/プロセスの可視化



Action.3

DevSecOps To-Be像の検討

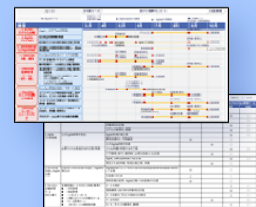
- お客様が目指すTo-Be像の検討
- DevSecOps KPIの検討



Action.4

施策の検討/計画策定

- 現状とのギャップ・課題整理
- アクションプラン・優先度、スケジュール検討



お問い合わせ

ibm.biz/Contact

リンク先のお問い合わせフォームをご利用ください。
お問い合わせ内容欄には「マイクロサービス化・コンテナ化の件」とご記入をお願いします。

日本アイ・ビー・エム株式会社

この情報は2021年4月現在のものです。掲載の製品仕様・価格は予告なく変更される場合があります。
IBM、IBMロゴ、ibm.com、およびIBM Cloudは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml (US)をご覧ください。